

近畿大学のメガソーラーの建設計画について

< 近畿大学から示された計画 >

- ・発電事業者：中部電力グループ会社
- ・設置場所：恵庭市南島松157
- ・設置面積：11.2ha（敷地全体面積30.3ha）
- ・発電容量：モジュール出力 2,421kW×2サイト（直流）
（260W×9,312枚）×2サイト
パワーコンディショナ出力 1,999kW×2サイト（交流）
（250kW×7台+249kW×1台）×2サイト
- ・設置期間：平成25年～平成45年の20年間
- ・使用形態：発電事業者への賃貸借

< 市の対応 >

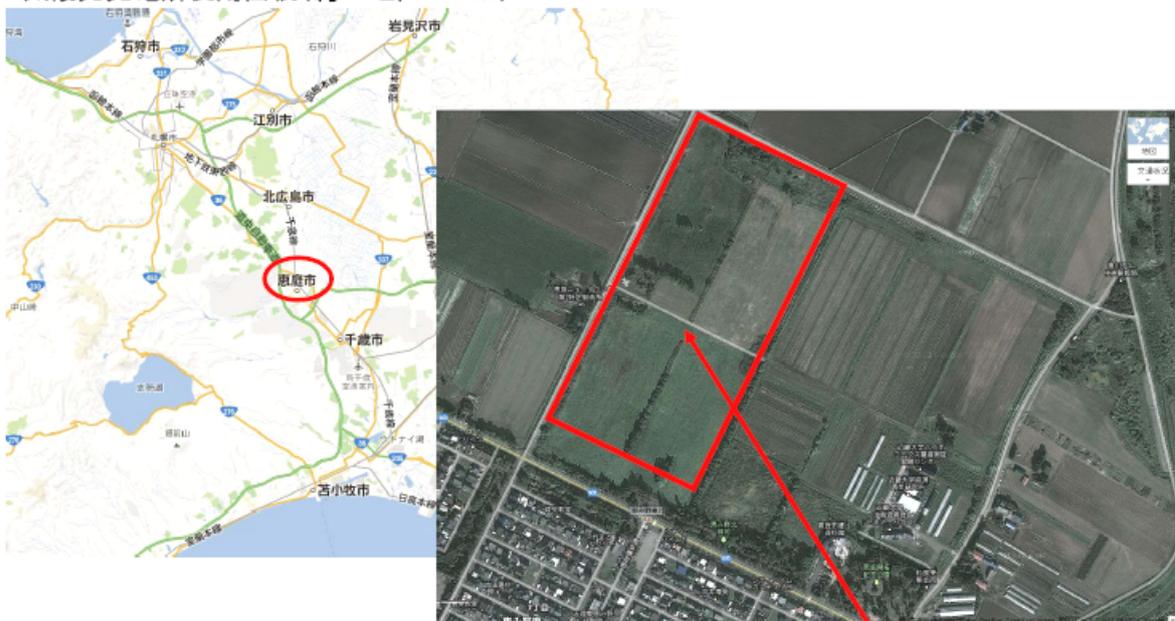
事業の概要案について近畿大学からの説明があった後、恵み野地区町内会連合会会長、南島松町内会会長及びJA担当者には情報提供をしている。

懸案とされる事項等について、近畿大学からの回答をもとに、専門家に意見を聞いて確認した結果、事業推進による懸案事項への影響がほとんどないと判断。今後、周辺住民や関係者への説明会の開催について調整を図っていく。

その結果、一定の理解が得られた段階で、市としての大学に対しての事業承認を行いたいと考えている。

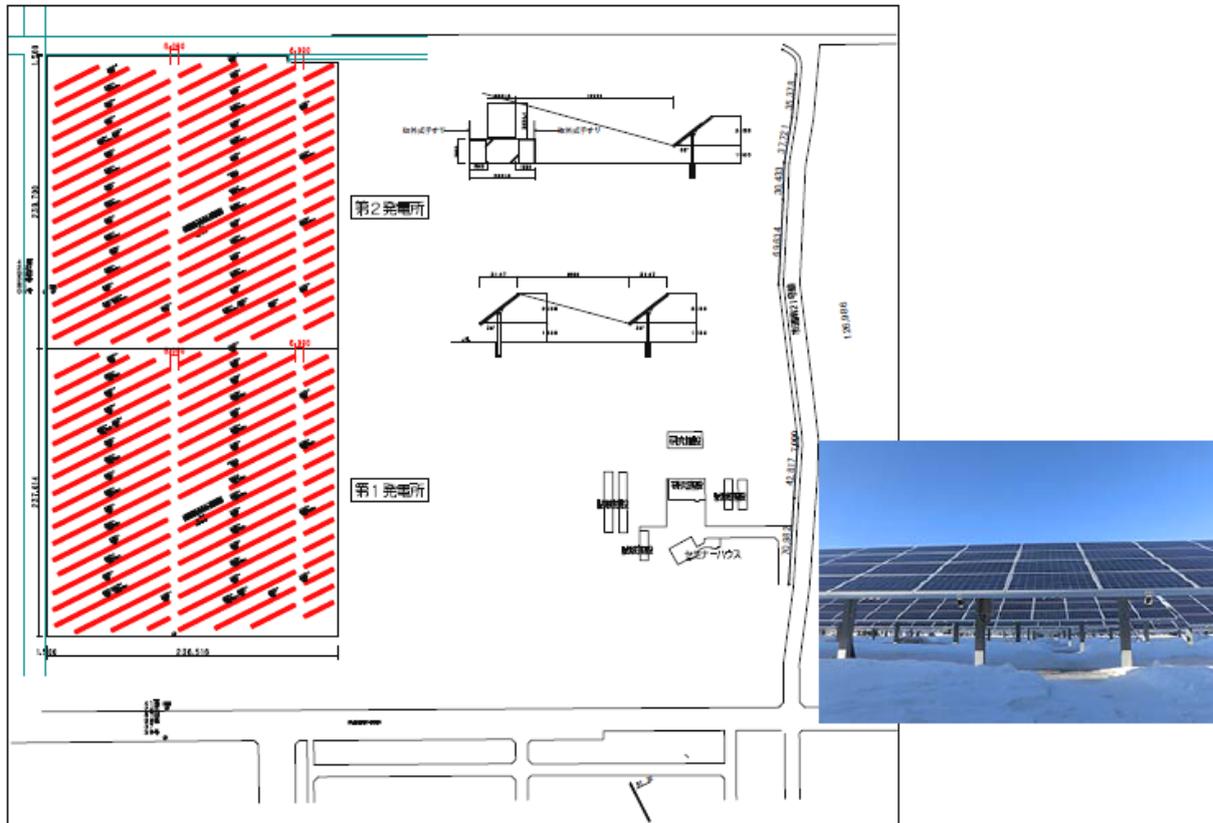
1. 建設予定地

- ・近畿大学バイオコクス研究所内（約305,000㎡）
- 太陽光発電所使用面積（約112,000㎡）



メガソーラー計画地

2. 太陽電池配置図



3. 太陽光発電設備構成

